

1. 施設整備方針

「自然体験と個を活かす ここだけの学校づくり」

小規模特認校として小中の枠にとらわれない9年間を通した特色あるカリキュラムを構築し、個のよさを活かす教育活動を実施します。豊かな自然に囲まれた穏やかな環境と地域との密接なつながりにより、ここだけしかない学びの環境をつくり、学校を中心に子ども、職員、地域の人々が、つながり、ひろがり、次世代へ紡がれていく学校を整えます。



2. 計画概要・事業スケジュール

<計画概要>

計 画 地：豊前市大字下河内81-9

敷地面積：19,916 m² (実測面積)

延床面積：5,193.34m² (新築建物：1,532.01m²、既存建物：3,661.33m²)

建築面積：3,414.06m² (新築建物：813.91m²、既存建物：2,600.15m²)

階 数：地上2階建て

構 造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(渡り廊下 鉄骨造)・耐震安全性Ⅱ類

駐 車 場：20台程度(車いす利用者用駐車場含む)

工 事 区 分	令和6年度			令和7年度												令和8年度									
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
学校行事				冬休み			春休み																		
新校舎棟増築																									
既存校舎棟改修																									
既存機械室棟改修																									
グラウンド整備																									
外構整備																									

■ 工事期間
■ 準備期間

3. 配置計画

豊かな自然を取り込む増築校舎棟

増築校舎棟は、グラウンドに面して配置します。増築校舎棟の教室からは、岩岳川や周辺の山々を望むことができます。周囲の豊かな自然と呼応した学校づくりを目指します。



中庭を中心とした豊かな学校空間

既存校舎と増築校舎の間に豊かな中庭を整えます。中庭空間を取ることで、各室への採光・通風に配慮し、心地良い学習環境をつくります。



4. 平面計画「個の力と可能性を引き出す多様な空間・環境づくり」

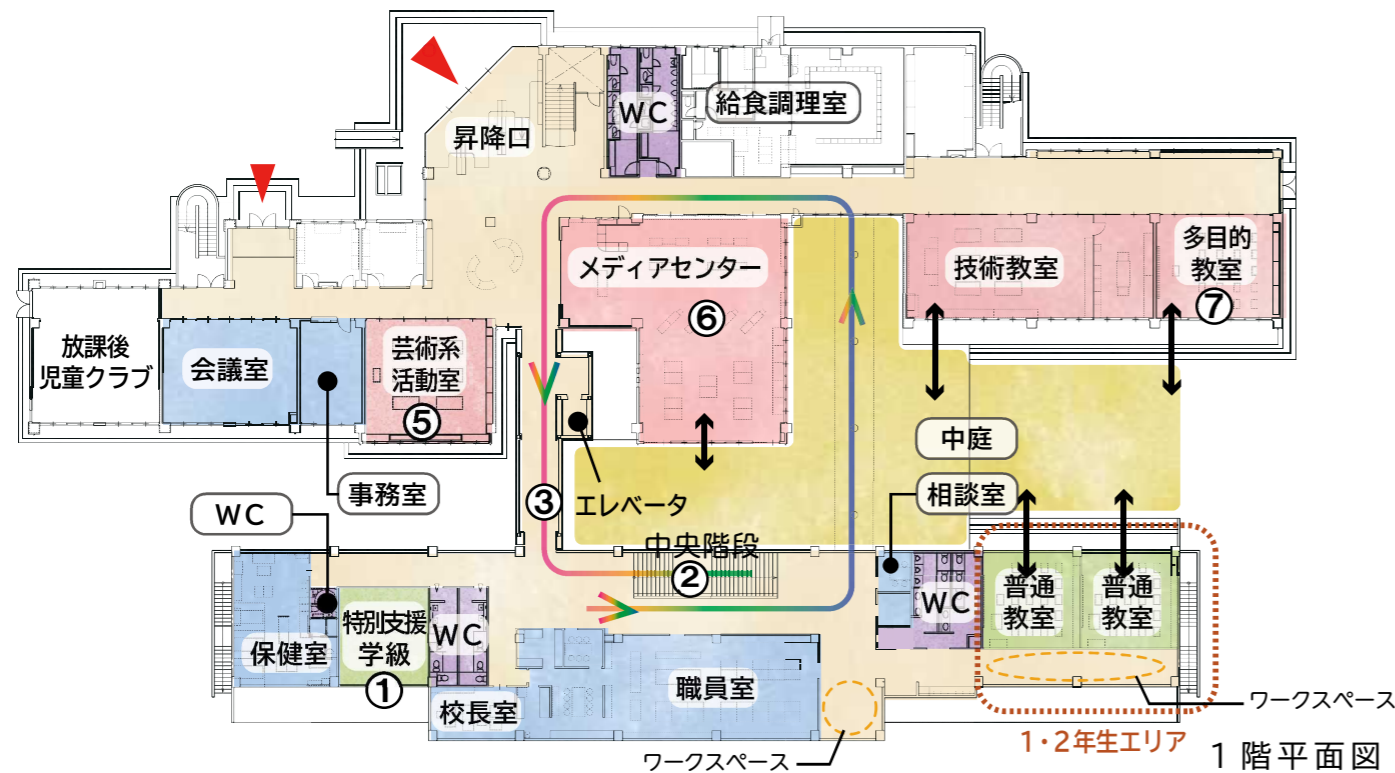
9年制を活かした教室配置

【4-3-2の3ステージ制を意識した教室配置】

1・2年生、3・4年生、5～7年生、8・9年生という教室群で配置を行い、学校生活での目標や役割意識を持てるようにします。また、特別な支援が必要な子どもにとって安心でき集中しやすく、交流もしやすい教室配置とします(①)。

【交流を促す空間づくり】

校内各所に子ども達の交流を促す空間を設けます。中央階段(②)は、全学年の子どもが顔を合わせる場となります。また、校舎間をつなぐ渡り廊下(③④)や、教室群をゆるやかにつなぐワークスペースを配置し、学年によらず校舎内を自由に移動しやすく移動が楽しい空間を作ります。



個性を磨く多様な学びの空間

【地域とつながる空間】

地域の方とふれあう場となる芸術系活動室(⑤)やメディアセンター(⑥)、特別教室、会議室は地域開放が可能なように既存校舎棟にまとめ、拡張性のある計画とします。

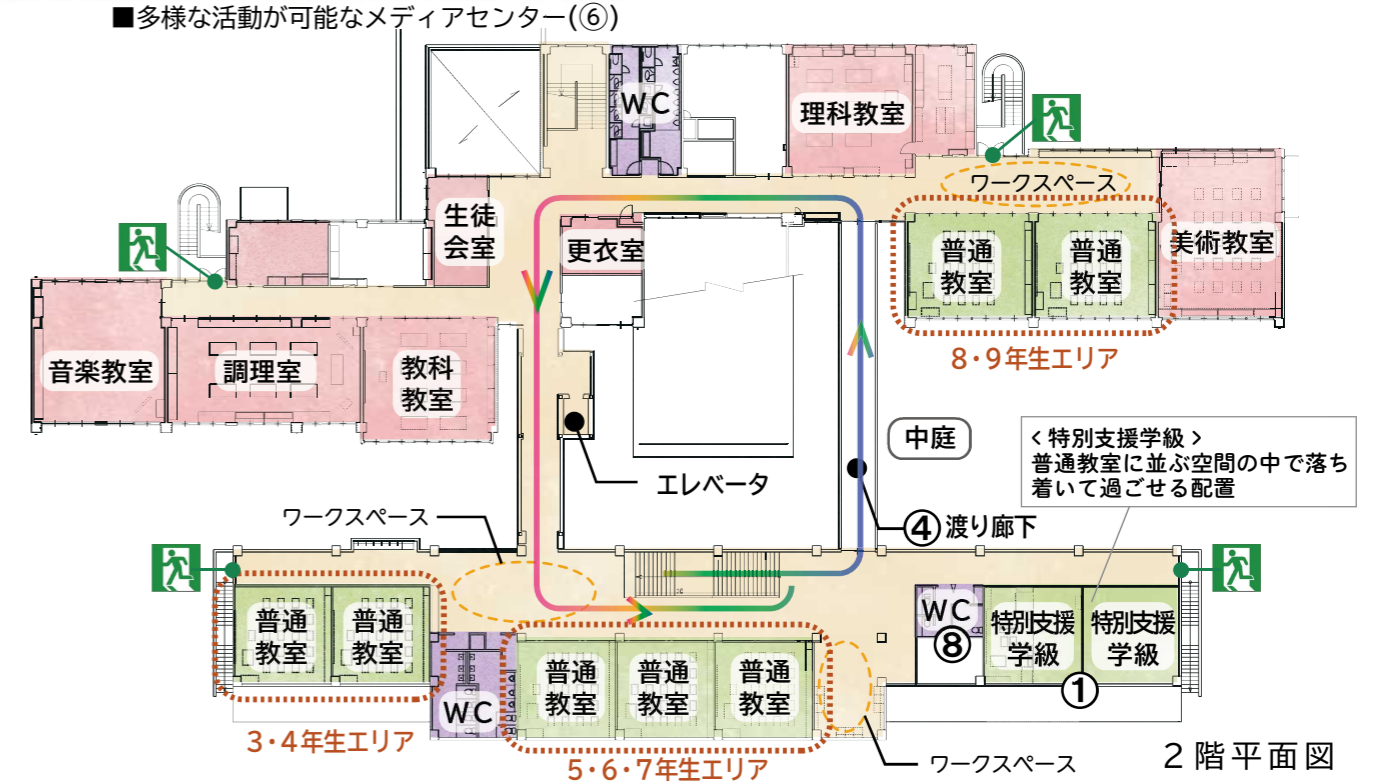


【外国語に親しむ環境】

多目的教室(⑦)をALTの常駐も可能な外国語教室の設えとします。また、校内各所に英語表記を併記して、低学年から外国語に親しみやすい環境を作ります。

【多様な活動が可能な空間】

学校の中心にメディアセンターを配置し、ICT機器や図書を利用しながら個別最適な学びを進めます(⑥)。また、デスクや中庭空間、校内各所に設けたワークスペースなどの様々な仕掛けにより、共働的で多様な学びの環境を作ります。



5. 安全・安心な施設環境

子ども、教職員、保護者、地域、誰にとっても安全・安心な施設

【バリアフリー】

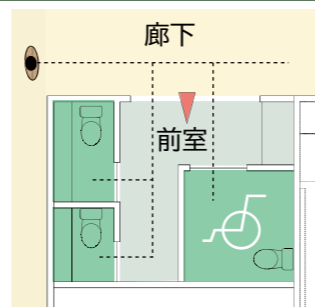
既存校舎棟を含めた学校全体を、誰にとってもやさしく利用しやすい場所とします。オストメイトに対応したバリアフリートイレ、エレベータも新設します。

【避難安全に配慮した設計】

増築校舎棟は中央と東西の3箇所に避難階段を設けます。既存校舎棟2階は東端の廊下を美術教室にし、渡り廊下を設置することでこれまでより避難しやすくします。

【多様性への配慮】

LGBTQ+対応のトイレ、校内の案内やサインは、ピクトを主として英語併記にするなど、性別・国籍や障害の有無に関わらず、多様な人を受容できるインクルーシブな施設を目指します。



6. 子どもと教師が一体となる施設環境

子どもと教師がふれあう場所づくり

中庭に面した明るい中央階段周辺は1年生から9年生まですべての子どもが集まりやすく、子どもと教師がふれあう空間になります。教職員全員ですべての子どもたちの成長を見守ります。



7. 持続可能な施設

維持管理しやすい建物

維持管理しやすい施設とすることで、ランニングコストを抑え、地域に永く親しまれる建物とします。

- ・清掃・管理が容易な材料選定
- ・機械設備の管理・修繕・更新性
- ・建物の外皮性能の向上
- ・消費エネルギーの低減
- ・修繕・保全しやすい材料選定